

天文台だより

銀河の森天文台
2026 春号
Vol.111

大彗星となるか？マップス彗星・・・あまり期待しないでください

2026年1月に発見されたマップス彗星(C/2026 A1(MAPS))は、クロイツ群に分類される彗星のひとつです。クロイツ群の彗星は、かつて太陽に接近した際に分裂してしまった彗星の破片たちであると考えられています。これらはサングレーザーと呼ばれる太陽に非常に近づく軌道を持っていることから、非常に明るくなるものがあり、昼間でも見えるような大彗星となることがあります。マップス彗星も大彗星となる可能性を持っていますが、元々の彗星の大きさが小さいことから、太陽に近づく近日点の際に崩壊して消滅してしまう可能性が高いと考えられています。しかし、過去にはもっと小さい彗星が近日点通過を生き延び大彗星となった例もありますので、マップス彗星が崩壊することなく大彗星となる可能性も持っています。近日点通過は4月4日、マップス彗星が崩壊してしまうか、それとも大彗星となるか？彗星は期待しすぎると明るくならないというジンクスもありますので、あまり期待せずに待つこととしましょう。



2026年2月17日 18:39 ~ 18:57
マップス彗星 (C/2026 A1)

春のイベント情報 !!

☆木星と春の天体観望会

ふたご座の中にある木星と、しし座など春見ごろを迎える星座や天体を観望します。

開催日：4月8日(水)～19日(日)

説明会：午後7時30分から(土・日のみ)

空が完全に暗くなる時間帯：午後8時頃

☆ゴールデンウィーク天体観望会

春の大曲線から大三角へ、春の天体をめぐる観望会を開催します。皆様のご来館をお待ちしております。

開催日：4月29日(水)～5月10日(日)

※期間中、特別開館日・振替休館日があります。

説明会：午後7時30分から(土・日・祝日のみ)

空が完全に暗くなる時間帯：午後8時30分頃

☆初夏の天体観望会

初夏の短い夜、おすすめの天体を観望します。2024年から増光現象が期待されている、かんむり座T星も確認してみましょう。

開催日：6月10日(水)～21日(日)

説明会：午後7時30分から(土・日のみ)

空が完全に暗くなる時間帯：午後9時30分頃

「館長コラム」

銀河の森では、まだ雪が残っていますが、春めいてきました。冬の間見られた「シマエナガ」も木々の芽吹きとともに見つけられなくなる季節です。

動物も活発に動き出します。エゾシカやキタキツネ、タヌキなどがよく見られますが、ウサギも見られるかもしれません。白い冬毛から茶色の夏毛に生え代わる時期です。白と茶の混ざり合った姿を見られるかもしれません。

これから桜の開花、新緑、真夏のような暑さを感じる季節もやってきます。星空も冬の星座から春、夏の星座へと移り変わっていきます。すでに早朝にはさそり座が見えてきました。

天文台の屋上からは、森の中も観察できますので、昼間の時間に双眼鏡を借りて、森の散策をするのも楽しいと思います。見られなくても耳をすませば動物や森の中のいろいろなざわめきが聞こえてきます。



館長
津田浩之(双子座)

2025年度銀河の森天文台写真展を開催しました!

2016年度から始まり、好評につき毎年恒例のイベントとなった「銀河の森天文台写真展」。2025年度は2026年3月7日～22日に開催され、めでたく第10回目を迎えました。写真展では、最近一年間(2025年3月1日～2026年2月28日)に撮影された天体や星空の写真が一堂に会し、13名の皆様による公募作品24点と、天文台職員が撮影した18点の計42点が展示されました。ご応募くださいました皆様、ありがとうございました。

暦表 (陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月1日	5:04	17:54	13.1	17:03	4:33
4月15日	4:40	18:11	27.1	3:22	15:33
5月1日	4:15	18:30	13.6	18:11	3:37
5月15日	3:57	18:46	27.6	2:28	16:58
6月1日	3:43	19:03	15.3	20:12	3:44
6月15日	3:39	19:11	0.0	2:59	19:48

天文行事 & 暦

4月

- 2 ○満月
- 4 水星が西方最大離角
(光度:0.3等, 離角:-27°49')
- 5 清明(24節気:太陽黄経15°)
- 8-19 木星と春の天体観望会
- 17 ●新月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 23 4月こと座流星群が極大
(AM5時 最大15個/時)
- 29-5/10 ゴールデンウィーク天体観望会

5月

- 4/29-5/10 ゴールデンウィーク天体観望会
- 2 ○満月
- 4.5 特別開館
- 5 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 7 振替休館
- 11-22 天文台メンテナンス休館
- 17 ●新月
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)
- 31 ○満月(ブルームーン)

6月

- 6 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 10-21 初夏の天体観望会
- 15 ●新月
- 16 水星が東方最大離角
(光度:0.5等, 離角:24°31')
- 21 夏至(24節気:太陽黄経90°)
- 30 ○満月

暮らしと宇宙「星の住所」

3月3日の皆既月食は、雪が降り望遠鏡での観察はできませんでしたが、雲の合間からなんとかお客様と眺めることができました。雪や雨が降ると望遠鏡の屋根を開けられず、また、雲が厚いと望遠鏡を使っても星は見えません。こうした日は、せめて望遠鏡の動く様子をご覧いただくのですが、「星は見えていないのに、どうして望遠鏡は星を探せるのか？」と驚かれることがあります。たしかに不思議に感じられるかも知れませんが、望遠鏡は「星の住所」を知っているからこそ、迷わずに天体へ向かうことができます。

例えば地球上には緯度・経度の住所があり、陸別町は北緯43° 東経143° に位置しています。同様に、星空にも位置を表すための「座標」があり、その座標は何を基準にするかによっていくつかの種類があります。主な一つは「赤道座標系」、地球の赤道をそのまま天球に延ばした「天の赤道」を基準にした座標です。望遠鏡で天体を導入するときに使うのはこちらで、恒星の位置を表すのに適しています。二つ目は「黄道座標系」、太陽が一年かけて通る道「黄道」を基準にした座標です。太陽系の惑星の動きなどを考えるときに便利な座標です。同じ星でも、どの座標で表すかによって「住所」が変わります。さて、何を基準にするかで変わることを、たとえば日常での物事の捉え方についてもありそうで興味深いですね。(守)

天文台からのお知らせ

- ☆ 4月より、開館時間が14:00~22:30 となります。
- ☆ 5月4日(月)、5日(火)は、特別開館いたします。
- ☆ 5月7日(木)は、振替休館となります。
- ☆ 4月29日(水)~5月6日(水)は、お昼12時より開館いたします。
- ☆ 5月11日(月)~22日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

星座小噺「おとめ座」

今回は春の星座であり、黄道12星座にも数えられるおとめ座についてお話ししていきたいと思っております。今回紹介するおとめ座の神話についてですが、モデルとなる神話については複数伝わっています。

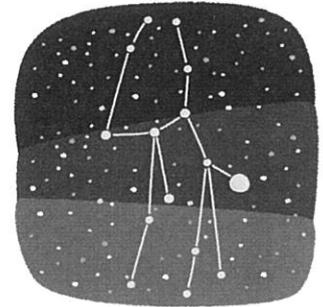
現在一般的に紹介されるのは豊穰の女神であるデメテル、あるいは正義の女神であるアストレアとされています。

おとめ座の星座絵を見てみると女神の手の中には麦の穂を持っており、この星座絵からはデメテルのイメージが強く現れていますね。

おとめを女神アストレアとする場合は、おとめ座のすぐそばにあるてんびん座が正義の女神アストレア

が持つ人の善悪を計るために使った天秤だとされています。

このように星座のなかにはモデルが定まっていなかったり、いろいろな説を調べて自分なりに考察するのも面白いかもしれませぬ。(寺)



Virgo

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映となります。
定員: 10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
上映時間: 午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
上映番組: 「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp X(旧Twitter): @ginganomori_obs

